

■貞保親王 皇族の音楽家。諸楽器とくに横笛に優れ、のちに“管弦の長者”“管弦の尊者”“管弦の仙”等と称えられた。

さだやすしんのう

・ ・ ・ ・ ・ 870＝ 藤原高子を母に、清和天皇の第四皇子に生まれる。のちの陽成天皇の同母弟で、南宮、桂宮と号した。

清和源氏始・ 873＝ 3歳：親王宣下。

出羽元慶の乱 878＝ 8歳：飛香舎にて、侍読の橘広相のもと、蒙求をはじめて講読。

元慶官田・ ・ 879＝ 9歳：

・ ・ ・ ・ ・ 882＝12歳：同母兄の陽成天皇と同時に元服して三品に叙せられ、上野太守に任ぜられた。

基経関白の実 884＝14歳：陽成天皇が廃位された際、同母弟として皇嗣に推戴されるべき立場にあったが、陽成天皇の乱行に懲りた伯父の関白藤原基経が身内の者を避けたため、貞保の即位は実現しなかった。

・ ・ ・ ・ ・ 886＝16歳：右相撲司別当、

阿衡の儀終・ 888＝18歳：

道真蔵人頭・ 891＝21歳：母藤原高子の五十賀では屏風を奉っている。

美貌で諸芸に秀で、漢詩文にも巧みであったが、とくに音楽に優れ、_古部春近(またはその祖父戸部吉延)に習った笛、父の清和天皇から伝えられた琵琶のほか、和琴・尺八などをよくした。笛は管絃長者・天下無比の名手と称されるほどであり、“衆芸の人”で、肩を並べる者なしと評された。中でも横笛を本として、穴貴という高名な笛を吹いて、その音色は特別だったようだが、袖の雪を払う際に折れてしまったという。

宇多上皇・ ・ 897＝27歳：

菅原道真左遷 901＝31歳：

古今和歌集・ 905＝35歳：

・ ・ ・ ・ ・ 906＝36歳：

・ ・ ・ ・ ・ 911＝41歳：この年から、_醍醐天皇の勅命で、上級者向け横笛教習、伝授の終了に際して、新規に横笛の楽譜を撰述、

・ ・ ・ ・ ・ 915＝45歳：

中務卿、兵部卿を歴任し、

・ ・ ・ ・ ・ 920＝50歳：この年にかけて、勅命によって_笛の伝授を行い、

・ ・ ・ ・ ・ 921＝51歳：さらに、*琵琶秘手の伝授を行った。笛の伝授をを集成した「新撰横笛譜(南竹譜)」を撰進した。100年前の日本初の勅撰漢詩集「凌雲新集」、10数年前の初の勅撰和歌集「古今和歌集」に続くものとして、日本文化史上重要なものであり。続いて撰進した「南宮琵琶譜」とともに、後世の楽人たちに重視された。また、長く日本での演奏が絶えていた幻の古代尺八の名曲「王昭君」を復活させ、その譜を横笛の譜に移したという。

・ ・ ・ ・ ・ 924＝54歳：_没した。

近衛南東洞院東にあった邸宅は後に藤原忠平に渡り、花山院として整備された。300年余り後に、琵琶の西流を伝承する藤原孝時の弟子の僧文机房隆円が書いた歴史書「文机談」に、諸芸に長じたと書かれている。